



ザンビアの経済概況・月報(2015年4月)

主なマクロ経済指標	2014年	2015年
1. 人口(百万人)	15.0(proj)	15.5(proj)
2. 人口増加率(%)	2.88(est)	3.3(est)
3. 失業率(%)	7.8(2012)	7.8(2012)
4. 平均寿命(年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP(百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP(百万米ドル)	26,758(est)	28,567(proj)
7. GDP成長率(%)	6.0	5.5(proj)
8. 一人当たりGNI(米ドル)	1,358*1(2012)	1,358(2012)*1
9. インフレ率(%)	7.9	7.2(Apr)
10. 消費者物価指数(2009年=100)	141.51	149.66(Apr)
11. 貿易収支(百万米ドル)	145.19	-42.16(Mar)*2
12. 対日貿易収支(百万米ドル)	-64.65*4	-4.98(Mar)*3
13. 輸出(総額,百万米ドル)*5	9,696.20	543.59(Mar)*2
14. 対日輸出(百万米ドル)	36.84*4	6.99(Mar)*3
15. 輸入(総額,百万米ドル)*5	9,551.01	585.73(Mar)*2
16. 対日輸入(百万米ドル)	101.49*4	11.98(Mar)*3
17. 経常収支(百万米ドル)	-1,250(2013年)	-
18. 対外直接投資(百万米ドル)	181(2013年)	-
19. 対内直接投資(百万米ドル)	1,811(2013年)	-
20. 金・外貨準備高(百万米ドル)	3,040(2014年9月末)	3,040(2014年9月末)
21. 対外債務残高(百万米ドル)	4,700(2014年12月末)	4,700(2014年12月末)
22. 為替レート(対米ドル)	6.15ZMW*5	7.39ZMW(Apr)*4
23. 主要政策金利(現行,年利%)	11.56	12.50(Jan)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
*2 1USD=7.36ZMW(2015年3月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3 1USD=118円(2015年3月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*2
*3 <2014年2月>
主要輸出品目: 銅/硫酸/発煙硫酸/電力/砂糖/金(半製品)/貴石
主要貿易相手国(輸出): スイス 31.5%, 中国 15.5%, 南アフリカ 13.1%, コンゴ(民) 12.2%, シンガポール 11.2%, その他 16.4%
主要輸入品目: 軽油/尿素/鉄鋼製の部品及び構造物/原油/発電装置(風力発電除く)
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 35.9%, 中国 12.2%, コンゴ(民) 8.9%, インド 6.6%, クウェート 6.6%, その他 29.8%
*4 1USD=106円(2014年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*5 2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨) = 1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。
<出典>
1.-2., 6.-7.: Country Report 2015 (EIU), The World Factbook (CIA), Ministry of Finance in Zambia / 3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security) / 4.: Census 2010 / 8.: UNDP Human Development Report / 9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO), Ministry of Finance in Zambia / 12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 / 17.: The World Factbook (CIA) / 18.-19.: UNCTAD / 20., 21.: Ministry of Finance in Zambia / 22.-23.: Bank of Zambia

主要な経済ニュース(4月)

1. “ザンビア開発庁(ZDA), 銅の最終製品を促す”(Times, 3日)

ザンビア開発庁(ZDA)は、投資家に対し、輸出機会の拡大を手助けするよう、銅の最終製品への投資を求めた。ザンビアで産出されている銅の90%以上が未加工の状態輸出されている。

2. “ザンビア政府, 電力セクターを促進”(Daily Mail, 9日)

ズル鉱山エネルギー水開発副大臣は、ザンビア政府が、電力セクターの成長促進を目的とした再生可能エネルギーの固定価格買取制度にかかる政策の策定中である旨発言した。

3. “内閣, 鉱山使用税の変更を承認”(Daily Mail, Times & Post, 14日)

内閣は2015年鉱山税制見直しを承認し、ルング大統領は、関係閣僚に対して、20日の閣議までに同見直し案の詳細を提出するよう指示した。右は、チャンダ大統領府特別補佐官(広報担当)が昨日発表した声明内で述べられた。

4. “ザンビア経済, 1.25%成長”(Daily Mail, 15日)

ザンビアの調査会社であるクカ・コンサルティングは、非鉱業セクターの成長によって、2015年第1四半期のザンビアの経済成長率は1.25%となり、2014年同時期の成長率1.5%からわずかに減少した旨明らかにした。

5. “チクワンダ財務大臣「財務状況に課題はあるが、ザンビア経済は改善しつつある」”(Lusaka Times, 20日)

チクワンダ財務大臣は、ザンビア経済は改善しているものの、商品価格の低下によって国際収支及び同国の財政状況に問題が生じている旨発言した。同大臣は、IMF・世銀春期会合(於: ワシントンDC)にて、同会合はザンビアにとって良い対話の場であることを述べた上で、同会合は成功裏に終わった旨発言した。

6. “ザンビア電力公社(ZESCO), 電力を輸入”(Daily Nation, 22日)

ザンビア電力公社(ZESCO)は、カリバ湖の水位低下を受け、近隣国からの電力の輸入を検討している旨明らかにした。パンダZESCOマーケティング広報部長は、同公社の送配電能力が現在制約されている旨発言した。昨週、ザンビア河川庁(ZRA)は、2014/2015年の雨季のザンベジ川流域の雨量不足をうけ、カリバダムの発電量を2015年の計画量から10%減少した旨発表した。

7. “ザンビアのルムワナ鉱山, 操業停止の計画を撤回—ザンビア政府高官”(Reuters, 23日)

ザンビア政府高官は、内閣による鉱山使用税の引き下げ決定後に、パルク・ゴールド社が、同社所有のルムワナ鉱山の操業停止を撤回した旨発言した。

8. “ザンビア政府「ルムワナ鉱山の人員削減はない」”(ZNBC, 23日)

ルムワナ鉱山は、ザンビア政府の2015年鉱山税制見直しの動きを受け、4000人の労働者を解雇する決定を撤回した。マルペンガ北西部州次官は、右決定の撤回は、22日にマクネビン・ルムワナ鉱山ゼネラルマネージャーによって同次官のオフィスに伝えられた旨発言した。同次官は、北西部州の住民が、ザンビア政府による鉱山税制の見直しを歓迎している旨発言した。

9. “国内8州で停電が発生”(Daily Mail, Times & Post, 29日)

パンダ・ザンビア電力公社(ZESCO)マーケティング広報部長は、27日夜に、キトゥエ変電所及びルアノ変電所の故障によって国内8州(ルサカ州、コッパーベルト州、北西部州、北部州、東部州、ムチンガ州、中央部州、ルアブラ州)で停電が発生した旨発言した。同部長は、昨日発表されたステートメントにおいて、両発電所の故障によってZESCOの送電網に対して極度に高い電圧がかかった結果、カリバ・ノースバンク発電所及びカフエ・ゴージ発電所の発電機が自動的に切れた旨発言した。

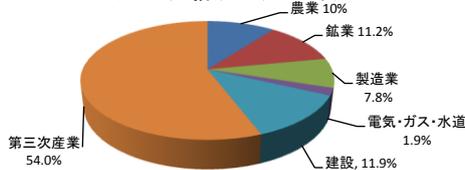
<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典:ザンビア歳入庁, ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/Company Tax): 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT): 16%。
- 採掘権料(Mineral Royalty)(見直し中):
坑内掘りに8%、露天掘りに20%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax): 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成比(2013年)



(出典:ザンビア中央統計局(CSO)データから当館作成)